

専用アプリ [Thriveアプリ] のアカウント設定とクラウド接続手順



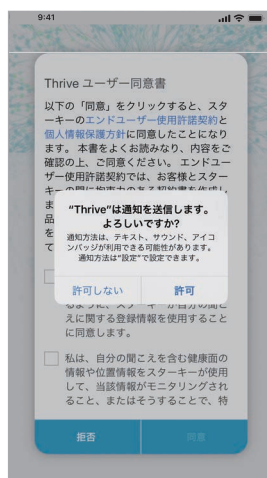
Thriveアプリを使用するためには、以下の設定を行う必要があります。

① 通知サービスの設定

Thriveアプリの通知を「許可」してください。

補聴器に通知音でお知らせしたり、Thriveアプリのアイコンバッジ通知、ロック画面にバナー通知できるようになります。

※ iPhone の 設定 > 通知 > Thrive にて設定



② 位置情報サービスの設定

Thriveアプリに位置情報の利用を「許可」してください。
ジオタグによる位置情報の利用のために「常に許可」を推奨します。

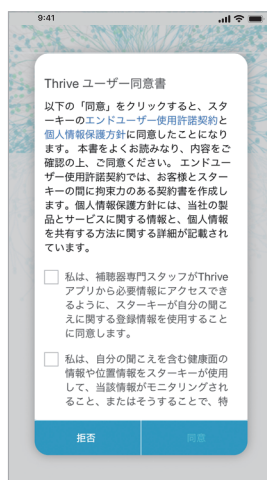
※ iPhone の 設定 > プライバシー > 位置情報サービス > Thrive にて設定



③ 使用許諾契約 / 個人情報保護方針の確認

Thriveユーザー同意書に「同意」してください。

内容を確認していただき、2つのボックスにチェックを入れて「同意」をクリックします。



④ アドバンスモードの選択

「アドバンスモード」にしてください。

※ Thriveアプリの 設定メニュー > アプリの設定 にて設定



⑤ クラウド接続

使用ユーザー個人のアカウントにてクラウドに接続してください。

Facebookアカウントか、Googleアカウント、もしくは「アカウントの作成」(メールアドレス登録)を行ってクラウドにサインインします。

※ Thrive アプリの 設定メニュー > どこでも聴覚ケア > サインイン にて設定

(例)最終同期日: 2019/06/05 が更新されていればクラウド接続は完了です。



⑥ Bluetoothの使用

「OK」にしてください。
補聴器とアプリを連動させるにはBluetoothとの接続が必要です。



iPhoneをお使いの方へ

Livio AI / Livio補聴器を iOS 端末で操作するには



Livio AI / Livio 補聴器を iPhone (iOS 端末) で操作するには、補聴器と端末をワイヤレスで連動させるために、最初に **ペアリング** を行う必要があります。

Livio AI / Livio 補聴器と iOS 端末をペアリングする

iOS 端末から補聴器の操作を行う場合は、双方を連動させるためにペアリングする必要があります。以下の手順に従って、ペアリングを行ってください。

- 1 設定 > (一般) > アクセシビリティ > 聴覚サポート と進み、**(MFi)ヒアリングデバイス** をタップしてください。
※ iOS13 対応機種から、設定 > アクセシビリティ に直接進むことができます。
- 2 Bluetooth をオンする必要があります。
オンに設定すると MFi ヒアリングデバイス (補聴器) 名が表示されます。
- 3 補聴器の電源を一旦切り、再度入れ直して、補聴器をペアリングモードにします。
- 4 画面に表示された補聴器名をタップします。
- 5 補聴器1台につき1回、両側に装着される場合は2回ペアリングが要求されます。「ペアリング」を選択してタップします。
- 6 ペアリングが完了すると、画像の通り、デバイス (補聴器) 名が黒色から青色に変わり、「未接続」の表示が「接続済み」に変更されます。



補聴器とiOS端末のペアリングが完了すると、iOS端末から補聴器の操作できるようになります。操作方法は、

- ① **MFi (Made For iPhone) 補聴器としてiPhoneの設定から操作する方法** と、
- ② **専用アプリから操作する方法** の二通りあります。

1. 専用アプリを使用せず、MFi 補聴器としてiOS端末から操作する

ペアリングを完了すると、iOS端末を使って、補聴器の電池残量の確認、音量調節、ライブリスニング（リモートマイク機能）の操作などができるようになります。操作を行うには、iOS端末の「設定」>「一般」*>「アクセシビリティ」>「聴覚サポート」の順に進み、「(MFi) ヒアリングデバイス」をタップします。アクセシビリティのショートカット機能（アクセシビリティ・ショートカット）を利用して操作することもできます。 *iOS13対応機種から「設定」>「アクセシビリティ」に直接進むことができます。

① MFi デバイス(補聴器)の基本操作

デバイス(補聴器)名をタップすると、MFi補聴器の基本的な操作ができるようになります。補聴器へのストリーミングのオン/オフ、音量調節、補聴器にプリセット(設定)されているメモリー(プログラム)の変更、ライブリスニングの開始/終了、ペアリングの解除ができます。



② 着信音を再生

デフォルトはオフの状態です。オンにすると、電話が掛かってきたときに接続した補聴器から着信音が再生されます。

③ オーディオルーティング

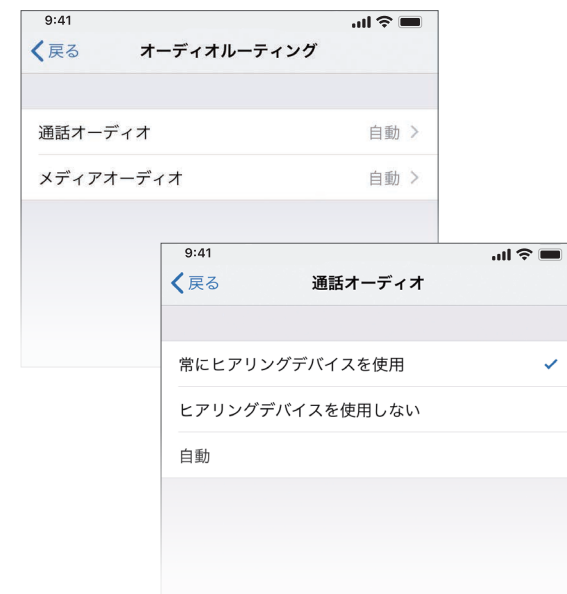
通話オーディオ(電話の着信)とメディアオーディオ(音楽、動画の音声など)をどの機器で再生するかを選択して設定します。デフォルト設定は「自動」が選択されています。各項目をタップすると、以下の選択肢を選ぶことができます。

常にヒアリングデバイスを使用 > 補聴器へストリーミング

ヒアリングデバイスを使用しない > iOS端末へストリーミング

自動 (デフォルト設定) >

接続されている Bluetooth 機器 (補聴器も含む) が自動的に検知され、ストリーミングされます。オーディオ機器 (イヤホンなど) が有線接続されていると、ルーティングが最優先されますのでご注意ください。



近くのデバイス(補聴器)を操作

iOS端末を使って、同じWi-Fiネットワークに接続されていて、iCloud アカウントに紐付けられている補聴器の設定を調整できます。

オーディオ Handoff

iOS端末を切り替えても、補聴器でメディアの視聴を続けられます。

たとえば、iPhoneに補聴器が接続されていて、iPadで映画の視聴を始めた場合、補聴器が自動的にiPadに切り替わります。

* 詳しくは、Appleサポートのホームページ: 「Made For iPhone」補聴器を使う (<https://support.apple.com/ja-jp/HT201466>) をご覧ください。

④ ロック画面からのコントロール

iOS機器がロックされている状態でも、ホームボタンを3回クリックして、アクセシビリティのショートカット画面を表示させることができます。補聴器に設定(プリセット)されたメモリーや音量をすばやく調整できます。

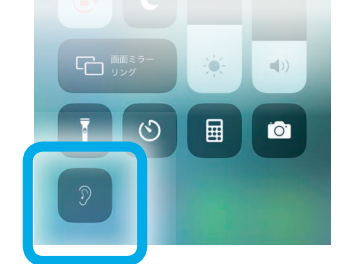
アクセシビリティ・ショートカットの作成

アクセシビリティのショートカットに「聴覚(サポート)」を追加します。

- ① 設定 > コントロールセンター > コントロールをカスタマイズ へ進みます。
- ② コントロールを追加で「聴覚(サポート)」をタップすると「含める」の項目に移動されます。



- ③ iOS端末の画面を下からスワイプすると、ウェジェット(ショートカットの一覧)が表示されます。聴覚サポートを表す耳マークをタップすると、アクセシビリティ・ショートカット画面になります。



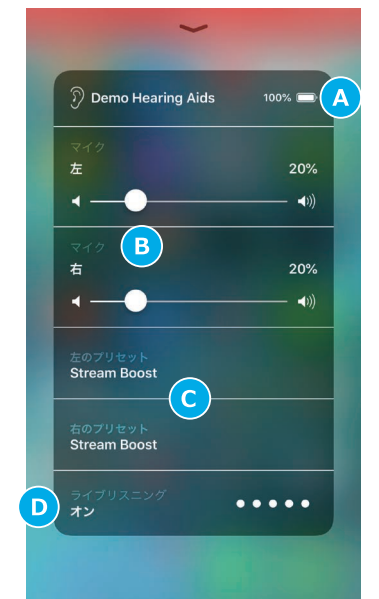
アクセシビリティ・ショートカットを使う

アクセシビリティ・ショートカットを使って、補聴器の音量調節、メモリーの変更、ライブリスニングのオン/オフを切り替えができます。

- iPhone X 以前 : ホームボタンをすばやく3回続けて押します。
- iPhone X 以降 : サイドボタンを3回押します。

アクセシビリティ・ショートカットを使い、以下の操作を行うことができます。

- 電池残量** > パーcentage (%) で残量が表示されます。 A
- マイク** > 左右別々に表示され、Oマークをスライドさせて補聴器の音量を調節します。 B
- プリセット** > 左右別々に表示され、タップすると、補聴器に設定されているメモリーが表示されます。使用環境に応じたメモリーに変更できます。 C
- ライブリスニング** > タップすることで、オン(開始)またはオフ(終了)にできます。ライブリスニングを使えば、iOS端末がリモートマイクになり、補聴器に音声を送ってくれます。騒がしい場所で会話や、部屋の向こう側から話しかけてくる人の声が聞き取りやすくなります。 D



2. 専用アプリから操作する

iOS端末のApp Storeから専用アプリをダウンロードします。アプリをダウンロードするには、iTunes®のアカウントが必要です。お持ちでない方は、www.itunes.com から設定してください。

- ① iTunesアカウントを設定したら、App Storeを開きます。
- ② StarkeyまたはThriveと入力し、Thrive Hearing Controlを検索します。右のQRコードを読み込んでアクセスすることもできます。
- ③ 「入手」をタップしてダウンロードします。
- ④ ダウンロードが終わったら、アプリのアイコンをタップして初期設定を行います。



※ iPhone 5S (iOS12搭載) 以上に対応。

* 専用アプリの具体的な操作方法に関しては、「Thriveアプリ簡易ガイド」をご覧ください。